



令和3年度の 政策を評価 決算審査

順正学園への 環境整備補助金の 経済効果を追究

令和4年9月2日から22日までの21日間、令和4年第5回9月定例会が開催されました。市長から認定4件と議案9件が提出され、議案は全て可決しました。追加で教育委員会教育長、教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員の同意3件が提出され、全て同意としました。加えて、人権擁護委員に関する人事案件が諮問され、適任としました。なお、請願が3件提出され、1件は継続審査となり、残る2件は賛成少數で不採択となりました。

また、議会運営委員会から2議案として委員会をオンラインで開催することを可能にするための議案2件と、議員の長期欠席に関する規定を明確化する議案1件の計3件が提出され、全て可決しました。



総務文教委員会で審査した案件は、認定1件、議案6件、請願1件の計8件であり、1件は認定、その他の議案は全員一致で原案のとおり可決することに決しました。

「令和3年度高梁市各会計歳入歳出決算認定について」

（以下「令和3年度決算審査」という）は、ふるさと納税などの自主財源確保、収税の取り組み、超過勤務のあり方、順正学園への補助金、消防署の職員配置、教育施設の有効活用や施設管理のあり方など、多岐にわたり質疑がなされました。

また、コロナ患者搬送の急増に対応するため、消防西分駐所から本署への職員の一時引き揚げが発生していることについて」は、県内他市町村においても審査結果にばらつきがある、もう少し時間をかけた後に改めて検討したいとしました。

なお、「少人数学級の拡充及び教職員定数改善をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の請願について」は、県内他市町村においても審査結果にばらつきがあり、もう少し時間をかけて、じっくりと検討したいとしました。

なお、「少人数学級の拡充及び教職員定数改善をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の請願について」は、県内他市町村においても審査結果にばらつきがあり、もう少し時間をかけて、じっくりと検討したいとしました。

100台の購入費補助金とし、3回接種した市民は約73%、4回接種は約30%であり、今後オミクロン株対応ワクチン接種も始まるが、メリットデメリットを合わせて説明をしていくとの答弁がありました。

「精神保健医療福祉の改善に對し、例年は都心等での説明会や体験ツアーや実施し10件前後の相談、10件前後の移住があった。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により相談や移住の件数は激減したが、オンラインでの相談等に取り組んだとの答弁がありました。

民生委員・児童委員の活動に担い手確保は職務として含まれていない。また、相談件数は2687件あり、民生委員で解決できないものは行政担当課や各地区の協議会で協議し対応するとの答弁がありました。

補正予算の審査では、新型コロナワクチン接種の質問に対する答弁がありました。

消費活性性・集客対策業務委託料の内容については、市内の事業者支援を目的に、1回目は昨年10月に、2回目は本年2月にそれぞれ15日間で実施しました。コロナ禍で打撃を受けた地元経済の立て直しに効果があつたが、高齢者が十分活用できなかつたことが今後の課題であるとされました。また、地域滞在型アドバイザー派遣委託料については、



▲吹屋往来「とと道」の案内

アフターコロナの 観光施策を議論

9月定例会の産業経済委員会での審査案件は6件で、すべて原案通り可決しました。

令和3年度決算審査の中で、「担い手育成・スマート農業社会実装促進事業」の内容については、規模拡大に必要な機械設備の導入を支援するとされました。

ANA(全日空)総合研究所から2人が高梁市に派遣され、日本遺産吹屋を中心とした市内の観光戦略確立に向けてのアドバイスを受けています。現在観光戦略確立に向けてのアドバイスを受けています。現

猛威をふるっている中においても、待つたなしの観光戦略が求められ、高梁市の観光発展のためにも持続的な支援を求めていくことを確認しました。

ワクチン接種事業や 2件の請願を審査

令和3年度決算審査では、移住サポート業務委託の質問に対し、例年は都心等での説明会や体験ツアーや実施し10件前後の相談、10件前後の移住があった。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により相談や移住の件数は激減したが、オンラインでの相談等に取り組んだとの答弁がありました。

「医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める請願」では、全額国庫負担で大幅賃上げ等が求められたが、諸外国に比べ日本国民の所得は低く、医療現場の負担の軽減は、コロナ受診をしないなど国民の意識改革が重要であるとし、不採択となりました。

ANAL(全日空)総合研究所から2人が高梁市に派遣され、日本遺産吹屋を中心とした市内の観光戦略確立に向けてのアドバイスを受けています。現在観光戦略確立に向けてのアドバイスを受けています。現

猛威をふるっている中においても、待つたなしの観光戦略が求められ、高梁市の観光発展のためにも持続的な支援を求めていくことを確認しました。

令和3年度決算審査では、移住サポート業務委託の質問に対し、例年は都心等での説明会や体験ツアーや実施し10件前後の相談、10件前後の移住があった。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により相談や移住の件数は激減したが、オンラインでの相談等に取り組んだとの答弁がありました。

「医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める請願」では、全額国庫負担で大幅賃上げ等が求められたが、諸外国に比べ日本国民の所得は低く、医療現場の負担の軽減は、コロナ受診をしないなど国民の意識改革が重要であるとし、不採択となりました。